

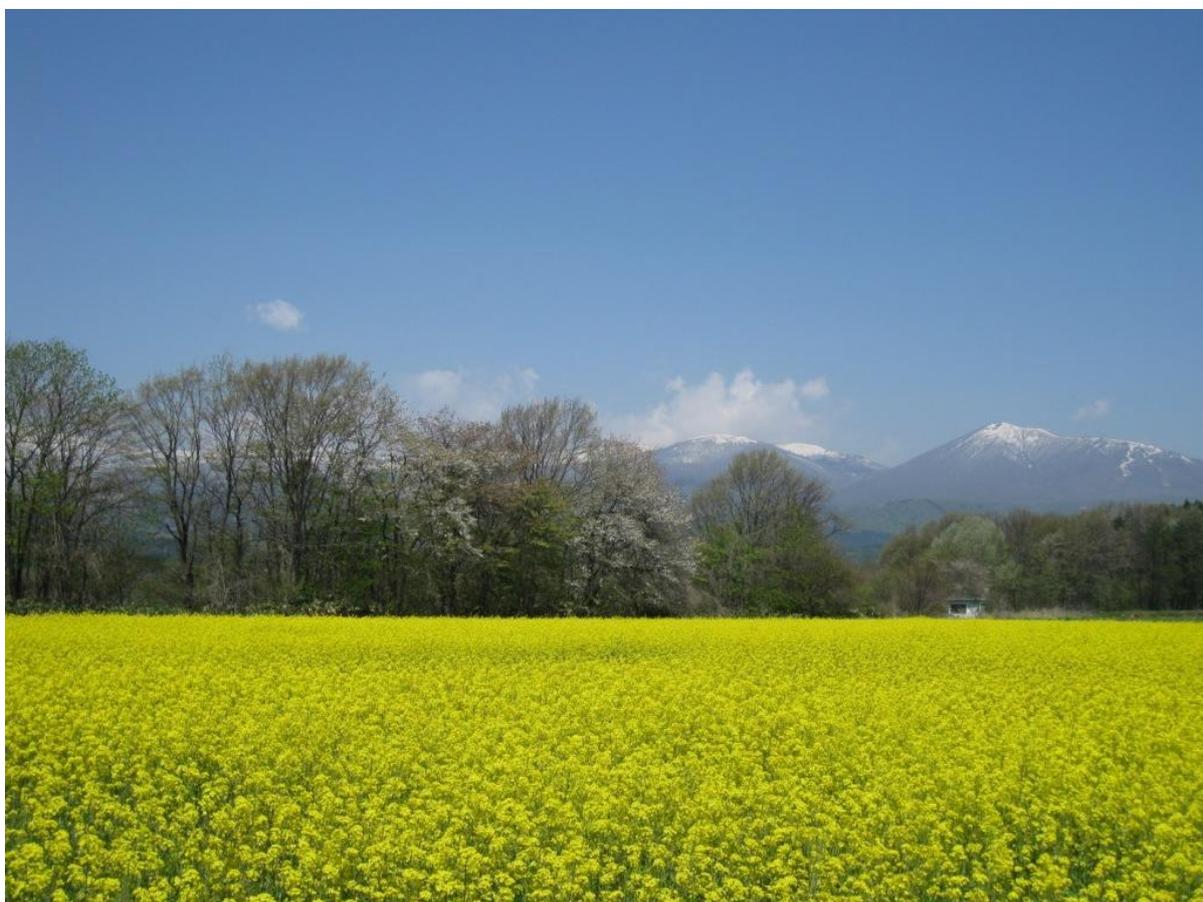


雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

平成 31 年・令和元年(2019 年)

雫石町観光客入込調査報告書



雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	6

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	7
2 観光地別月別入込状況	11
3 観光地年別入込状況	16
4 観光資源別入込状況	18
5 利用交通機関の状況	19
6 県外教育旅行客の入込状況	20
7 外国人観光客の入込状況	21
8 2019～2020シーズン・スキー客入込状況	24
9 雫石町観光レクリエーション入込調査数の推移	26

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。

これに伴い、岩手県では平成 22 年 2 月 12 日に観光入込統計に関する共通基準説明会を行ない、その中で平成 22 年調査より調査基準・施設などを大幅に変更することとした。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）
共通基準に移行した場合に想定される事項	<ul style="list-style-type: none"> ・調査箇所数が減少するため、算定する観光客数が減少する。 ・また、公表値は延人数ではなく実人員統計となる。 ・共通基準に完全移行した場合、他県等との地域間比較は可能となるが、本県の過去データとの比較分析ができなくなる。 	

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・人文系観光資源（行・祭事） ・展示見学教育施設 ・野外活動施設（スキー以外・スキー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記標記の観光資源（4 つの観光資源） ・都市型観光資源 ・その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源に伴った観光施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの観光施設 ・新たな観光資源により追加した観光施設 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 味力レストラン雫(雫石銀河ステーション 内)、農家レストラン「らら」、松ぼっくり </div>
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。 	
想定される事項	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の追加に伴い施設を増加したため、当町の過去データとの比較分析ができなくなる懸念される。 	

（2）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、平成 28 年より過去 5 年間のデータが整ったことから、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 27 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりでである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和元年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設などをいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

(2) 社会的要因に関する用語

○主な用語

①【いわて雪まつり】

平成 29 年に 50 回の節目を迎えた岩手の冬の一大イベント。平成 30 年の第 51 回から、岩手高原スノーパークをメイン会場とする複数会場で開催。分散開催 2 回目となる第 52 回は、岩手高原スノーパーク、網張温泉スキー場、雫石スキー場、小岩井農場まきば園、盛岡市の盛岡手づくり村、滝沢市のたきざわ自然情報センターとビッグルーフ滝沢の全 7 会場で、2 月 2 日(土)から 11 日(月・祝日)まで会期を 10 日間に延長して開催した。

②【御所湖 in しずくいし桜まつり】

平成 27 年に観光・物産の振興、地域の活性化を図るため初開催。桜の名勝地のひとつ雫石川園地において、雫石川を渡る鯉のぼりの掲揚、桜のライトアップの他、郷土芸能のステージや飲食物の販売等を行うなど、近年は認知度も上がり、町外からの来訪も徐々に増えつつある。本年は 4 月 20 日(土)、21 日(日)に 5 回目を開催。

③【小岩井ウィンターイルミネーション「銀河農場の夜」】

小岩井農場を会場に平成 25 年から開催され、今年で 7 年目を迎えた東北最大級のイルミネーションイベントで、11 月 22 日(金)から翌 1 月 13 日(月・祝日)まで開催された。テーマは「銀河農場の夜」。昨年より長い総延長 250m の光のトンネルや、立体イルミによる一本桜、農場内の森の素材で作った巨大リースが初登場し、フォトスポットもさらに充実された。

○補足用語

①【2 月 3 日～5 日の高温】

平成 31 年 2 月 3 日から 5 日にかけて、南から暖かい空気が流れ込み北日本でも気温が上昇。3 日深夜からは降雨も加わり、4 日の本町での最高気温は 8.3℃、降水量は 25.5mm に達した。いわて雪まつりのメイン会場、岩手高原スノーパークでも雨となり、会場内の雪が融けるなど開催に一部支障がでた。

②【花巻空港/仙台空港国際定期便運行】

花巻空港へは、平成 30 年 8 月に定期便化された台湾便に続き、平成 31 年 1 月 30 日に上海定期便が就航。また 10 月 30 日には運休していた仙台空港へのタイ定期便が、チャーター便の利用者急増に伴い運行再開。ツアーのみならず FIT での岩手県ならびに雫石町への外国人旅行者増加への寄与が期待されている。

③【岩手県交通バス網張温泉線 路線短縮】

盛岡駅から網張温泉まで運行していた岩手県交通の路線バスが、平成 31 年 4 月 1 日をもって小岩井農場までに路線短縮され、これにより休暇村岩手網張温泉までの公共交通機関がなくなった。休暇村宿泊者に対しては送迎バスがあるものの、利便性の悪化は否めない。

④【台風 19 号による大雨】

10 月 12 日から 13 日にかけて、大型で強い台風 19 号が三陸沖を通過したことにより、沿岸部を含めた県内全域で暴風雨となり、三陸鉄道が不通になるなどの被害が出た。本町でも 12 日の 24 時間雨量が 59mm に達するなどし、臨時休園などの影響が出た。

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	鶯宿集会所	
	ヴィラ館々倶楽部		男助山登山	
	ペンション イーハートブ花の郷		しずくいし YU-YU ファーム	
	ペンション カンタービレ			
長山・網張地区	B&Bホテルアルカディア(休館中)	国見・橋場地区	石塚旅館	
	いわて雪まつり		森山荘	
	岩手高原スノーパーク		道の駅「雫石あねっこ」	
	休暇村岩手網張温泉 本館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場	
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		国見山荘	
	網張温泉スキー場		国見キャンプ場	
	網張展望リフト	滝ノ上地区	駒ヶ岳登山	
	網張ビジターセンター		滝観荘	
	あみはりロッヂ		滝峽荘(休館中)	
	ペンション さんりんしゃ		みやま荘(休館中)	
	ペンション びつき		滝ノ上キャンプ場(閉鎖中)	
	ペンション HAIJI		滝ノ上登山	
	ペンション プチホテル クロくまくん(休館中)	玄武地区	玄武風柳亭	
	ペンション ベルクレール		ロッヂたちばな	
	ペンション ドア		四季の里	
	ペンション フィールドノート(廃業)		温泉ペンション くまさんち	
	ペンション もみじ		西根地区	雫石プリンスホテル
	ペンション 山賊			雫石ゴルフ場
	B&B ロックイーグル	雫石スキー場		
	民宿 なががわ	ペンション シャラ		
	民宿 杉清荘(休館中)	ペンション バオ		
	民宿 坂井荘	ペンション ビアフィールド		
	民宿 長助	Soil(休館中)		
	コテージ クレソン	ロッジ しのむら(休館中)		
	農家レストランらら	民宿 寿		
	松ぼっくり	民宿 大柳		
	県営屋内温水プール	民宿 そで		
	ゆこたんの森	民宿 しらかば		
ありね山荘	民宿 高見荘			
岩手山登山	民宿 雫石荘			
鶯宿地区	長栄館	その他地区	民宿 大工	
	ホテル加賀助		上野旅館	
	ホテル偕楽苑		佐々木旅館	
	寿広園		しずく×CAN	
	ホテル森の風鶯宿		ホテル 花の湯	
	ニュー鶯山荘		御所湖広域公園(乗り物広場)	
	ホテル鶯		御所湖広域公園(ファミリーランド)	
	清光荘		御所湖広域公園(町場地区園地)	
	川長		御所湖川村美術館	
	鶯泉館		雫石銀河ステーション(売店・レストラン)	
	かどや旅館		歴史民俗資料館	
	石塚旅館		ケツパレランド	
	鶯宿温泉の宿 赤い風車		ウォータージャンプ	
	温泉民宿 あげぼの荘		雫石川(溪流釣り)	
	温泉民宿 とちない		元祖しずくいし軽トラック市	
	温泉民宿 小枝		雫石よしやれ祭	
	温泉民宿 栄弥		南部よしやれ全国大会	
	温泉民宿 けむやま		しずくいし産業まつり	
	温泉民宿 川久		コテージ村まつり	
	八幡平カントリークラブ		岩手山ろくファミリーマラソン	
	フラワー&ガーデン森の風		御所湖 in しずくいし桜まつり	

Ⅱ. 本編

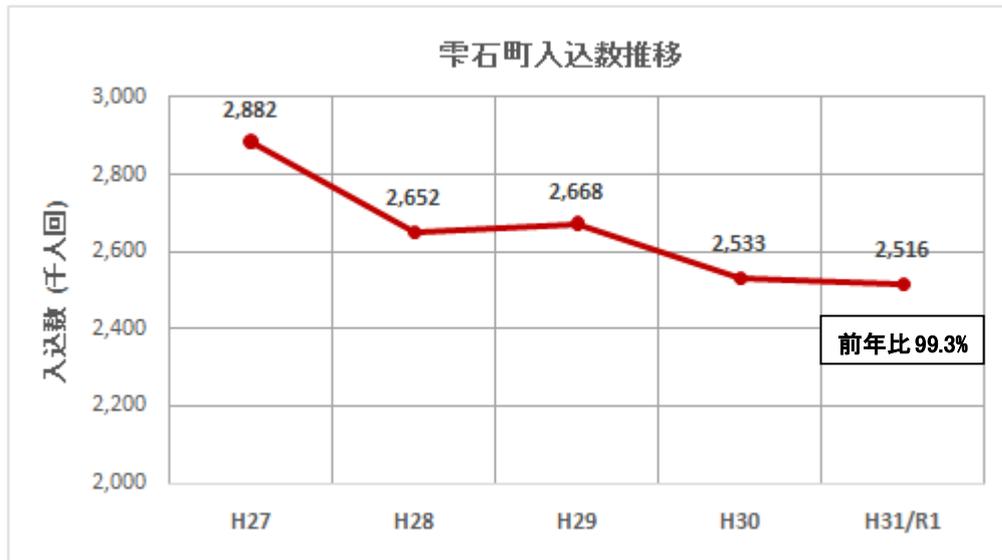
1 観光レクリエーション客の入込動向

(1) 概況

平成 31 年/令和元年の観光レクリエーション客の入込数は、2,516,332 人回で、前年より 16,954 人回の減(前年比 99.3%)となった。第 1 四半期は、暖冬による雪不足のためスキー客は思うように伸びなかったが、雪まつりの会期延長に伴う来訪者増の影響で増加した。第 2 四半期は GW が 10 連休となったことで来訪者増が期待されたが、4 月、6 月の天候不良での落ち込みが大きく、トータルでは昨年並みに留まった。また、第 4 四半期は紅葉シーズンの天候不良、12 月の雪不足により 43,362 人回減の前年比 92.1%となった。

日帰客数は、2,186,478 人回(前年比 99.6%)となり、前年より 9,045 人回減で横ばい。

宿泊客数は、329,854 人回(前年比 97.7%)となり、前年より 7,909 人回減で同じく横ばいとなった。



	H27	H28	H29	H30	H31/R1
日帰	2,525,671	2,307,581	2,331,612	2,195,523	2,186,478
宿泊	356,255	344,061	336,663	337,763	329,854
総入込数	2,881,926	2,651,642	2,668,275	2,533,286	2,516,332

○全体の増減要因

- ・第 52 回いわて雪まつりへの来訪者増(開催期間の延長 5 日間から 10 日間へ)。
- ・台風などによる秋の天候不良での入込数減少。

○日帰客の増減要因

「増加要因」

- ・いわて雪まつりの会期延長に伴う来場者の増加。
- ・新天皇即位に関連して 10 連休となったゴールデンウィーク期間中の来訪者増加。

「減少要因」

- ・2 月後半からの高温により融雪が進んだことでの、スキー客の減少。
- ・紅葉シーズンである 10 月の、台風など天候不良による来訪者の減少。

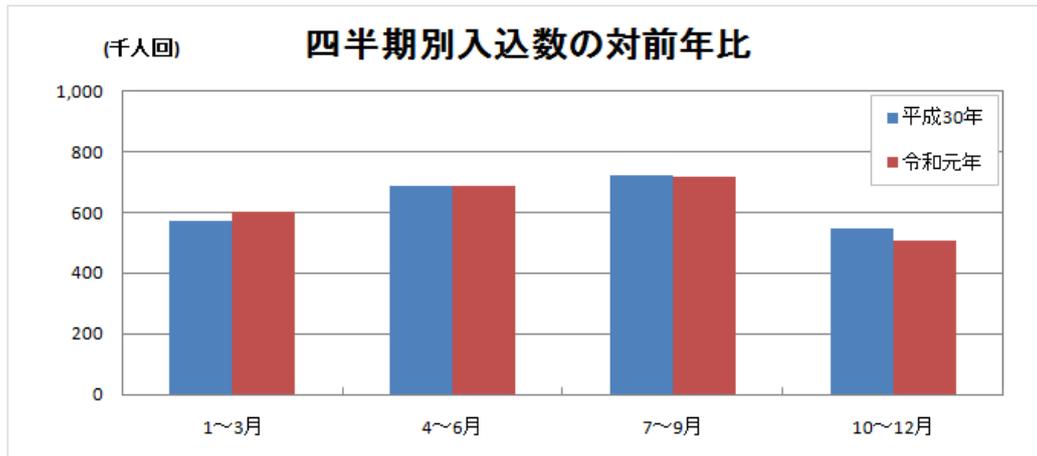
○宿泊客の増減要因

「減少要因」

- ・ゴールデンウィーク中の町内宿泊客の伸び悩み。

(2) 詳細

①四半期別



	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	計
平成30年	573,655	688,469	722,844	548,318	2,533,286
令和元年	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
対前年比	105.0%	100.1%	99.5%	92.1%	99.3%

○1~3月入込数：602,574人回（前年比105.0%）（人回）

	1月	2月	3月	1~3月計
平成30年	194,435	228,123	151,097	573,655
令和元年	186,423	269,703	146,448	602,574
前年比	95.9%	118.2%	96.9%	105.0%
前年差	-8,012	41,580	-4,649	28,919

「いわて雪まつり」の開催期間が昨年の5日間から10日間に延長されたことで、2月の来訪者数が41,580人回増の269,703人回(前年比118.2%)となった一方で、シーズン初めにスキー客の出足が鈍かったことと、後半高温により融雪が早かったことで、1月、3月の入込は3~4%前年を下回る結果となった。

○4~6月入込数：689,232人回（前年比100.1%）（人回）

	4月	5月	6月	4~6月計
平成30年	215,069	266,644	206,756	688,469
令和元年	193,714	306,429	189,089	689,232
前年比	90.1%	114.9%	91.5%	100.1%
前年差	-21,355	39,785	-17,667	763

桜は4月末に見頃を迎えたが、桜まつり開催時には未開花だったため来訪者は激減。10連休となったGWは日帰りでの来訪が増え、5月は39,785人回(前年費114.9%)増となったが、4月、6月は天候に恵まれずこの四半期では昨年並みの入込に留まった。

○7~9月入込数：719,570人回（前年比99.5%）（人回）

	7月	8月	9月	7~9月計
平成30年	197,100	295,407	230,337	722,844
令和元年	205,444	295,298	218,828	719,570
前年比	104.2%	100.0%	95.0%	99.5%
前年差	8,344	-109	-11,509	-3,274

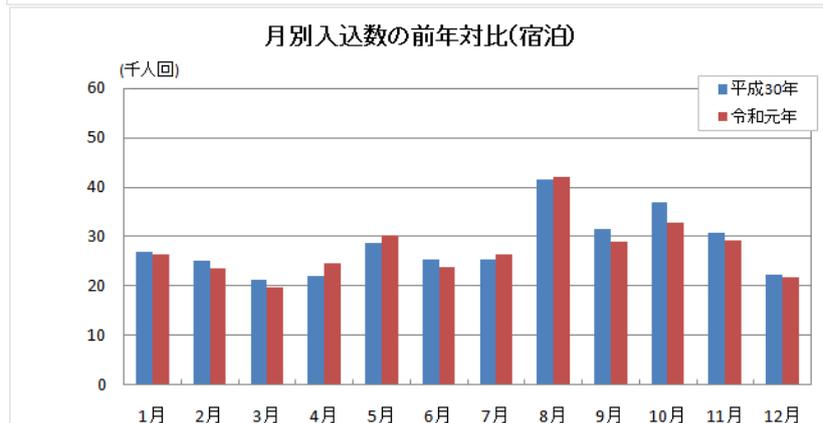
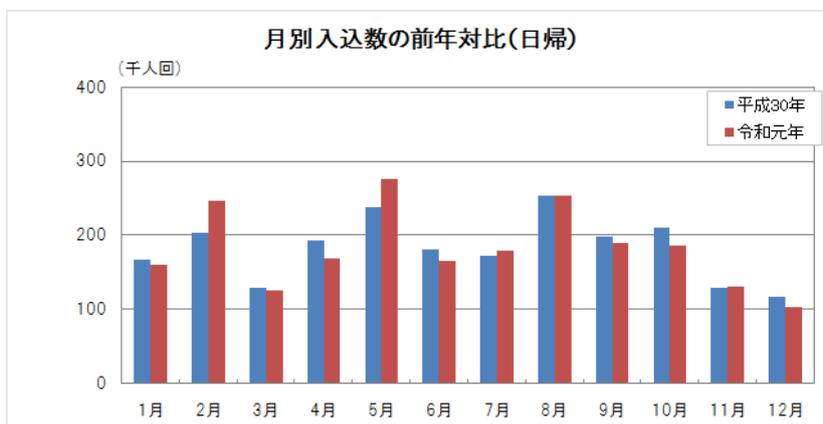
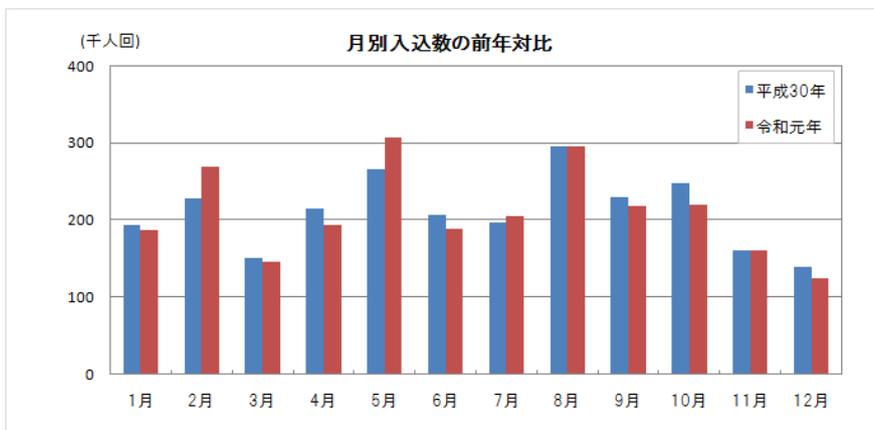
この四半期は、通行止めが発生するような大雨はなかったものの天候にあまり恵まれず、屋外施設を中心に入込減の影響を受けた。

○10～12月入込数：504,956人回（前年比 92.1%）（人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
平成30年	247,634	160,780	139,904	548,318
令和元年	219,787	160,192	124,977	504,956
前年比	88.8%	99.6%	89.3%	92.1%
前年差	-27,847	-588	-14,927	-43,362

10月の紅葉シーズンに台風による大雨を含め天候不良が続き、日帰客を中心に来訪者数は27,847人回減と大きく減少。12月も暖冬により降雪が遅く、一部スキー場のオープンがずれ込むなどしたため、入込数は減少した。

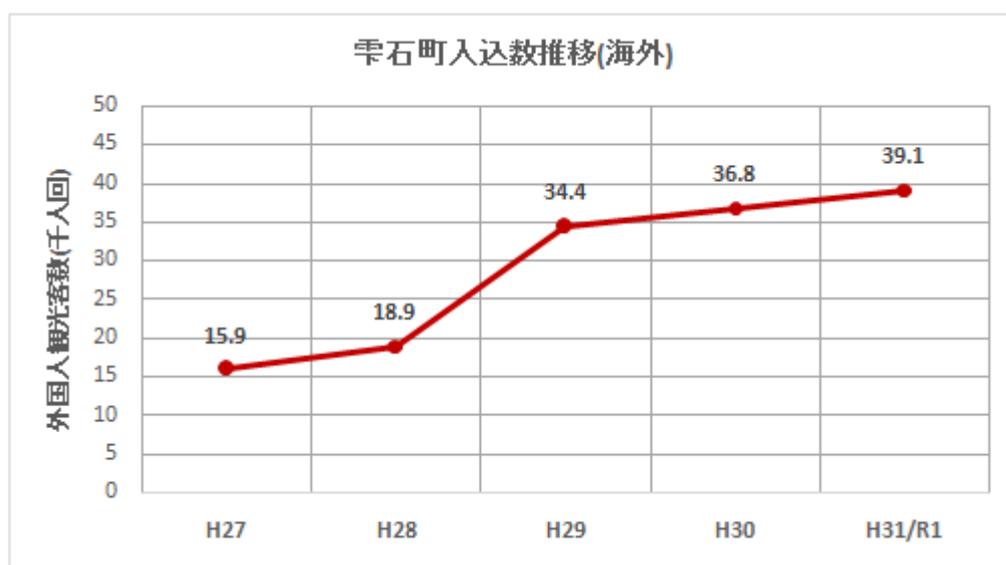
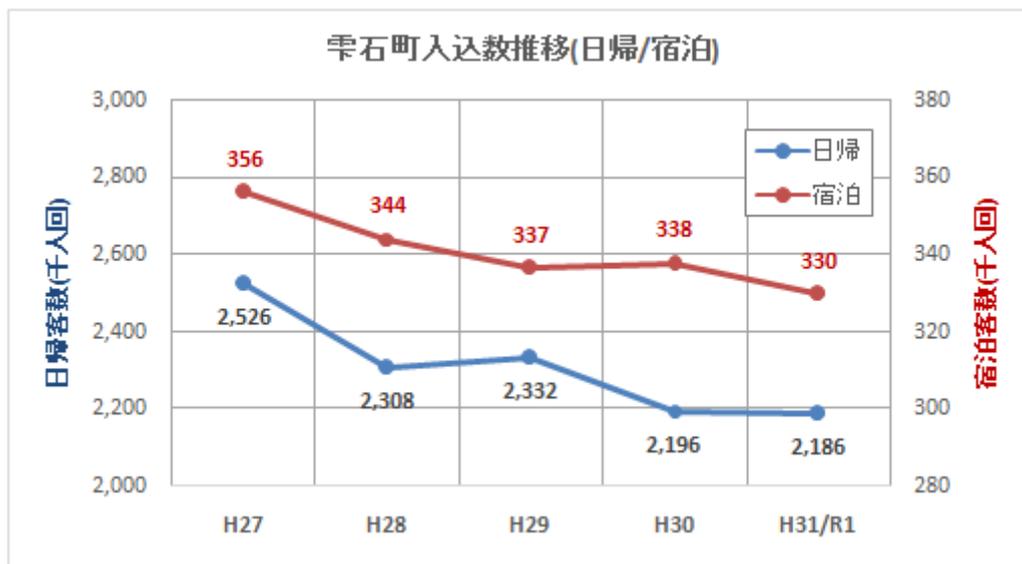
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	平成30年	167,554	203,111	129,876	192,912	237,866	181,368	171,821	253,756	198,886	210,669	130,071	117,633	2,195,523
	令和元年	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	前年比	95.6%	121.2%	97.5%	87.7%	116.1%	91.1%	104.3%	99.8%	95.4%	88.7%	100.7%	87.6%	
	前年差	-7,430	42,979	-3,227	-23,782	38,293	-16,179	7,321	-557	-9,083	-23,811	972	-14,541	-9,045
宿泊	平成30年	26,881	25,012	21,221	22,157	28,778	25,388	25,279	41,651	31,451	36,965	30,709	22,271	337,763
	令和元年	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	前年比	97.8%	94.4%	93.3%	111.0%	105.2%	94.1%	104.0%	101.1%	92.3%	89.1%	94.9%	98.3%	
	前年差	-582	-1,399	-1,422	2,427	1,492	-1,488	1,023	448	-2,426	-4,036	-1,560	-386	-7,909



②発地別

	H27	前年比	H28	前年比	H29	前年比	H30	前年比	H31/R1	前年比
	県内	1,871,594	104.0%	1,703,599	92.9%	1,732,570	101.7%	1,604,960	92.6%	1,589,390
県外	994,408	102.3%	929,155	92.8%	901,317	97.0%	891,511	98.9%	887,851	99.6%
海外	15,924	114.9%	18,888	118.6%	34,388	182.1%	36,815	107.1%	39,091	106.2%

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。その結果、発地別では県内客が1,589,390人回で、前年比99.0%の15,570人回減と昨年ほどではないが減少は続いている。県外客は前年比3,660人回減(前年比99.6%)の887,851人回で、ほぼ前年並み。一方外国人旅行者は、伸びは鈍化したものの前年より2,276人回増の39,091人回(前年比106.2%)と増加を続けている。平成27年からの推移をみると県内客、県外客とも引き続き減少傾向にあるが、本年は減少が鈍化した。これは、2月の入込数が前年比118%と伸びていることから、いわて雪まつりの期間延長による来訪者増に起因していると思われる。見かけ上減少が鈍くなったと考えるべきかもしれない。



2 観光地年別入込推移

①日帰/宿泊別

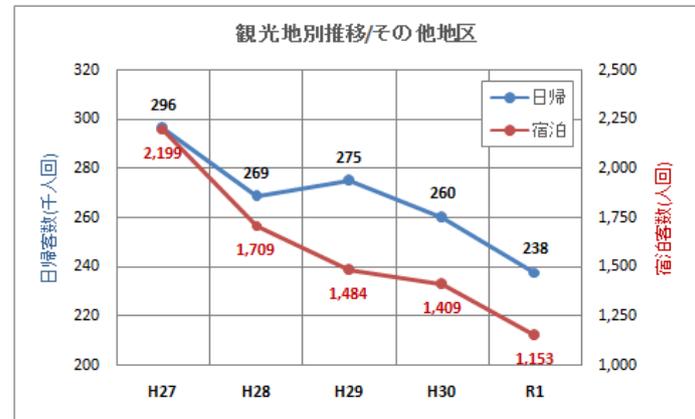
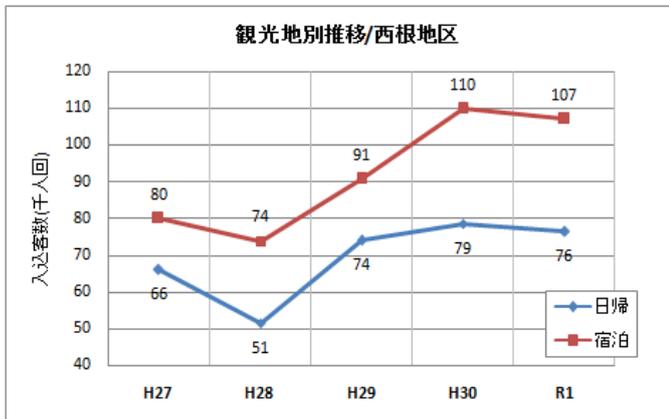
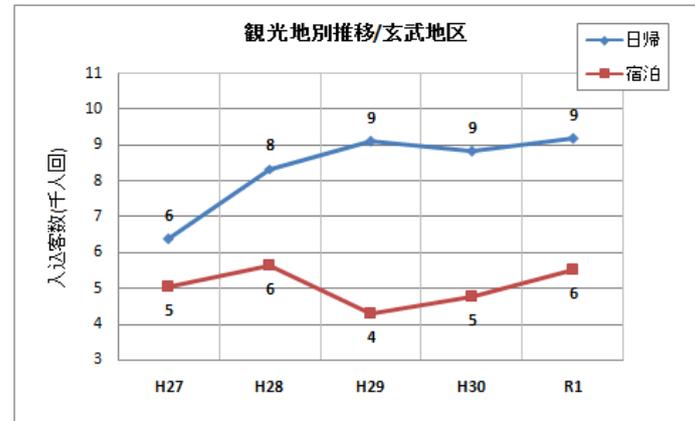
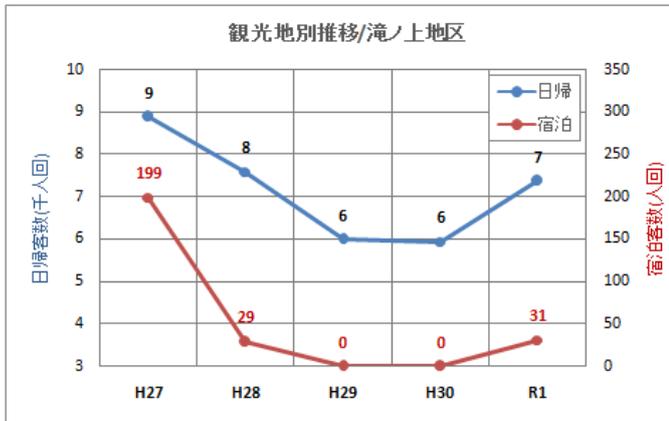
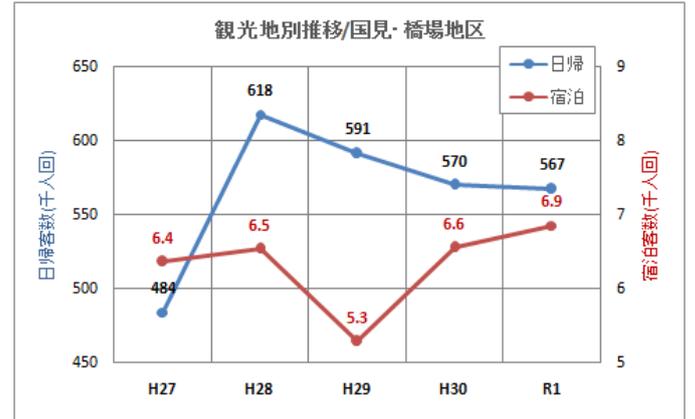
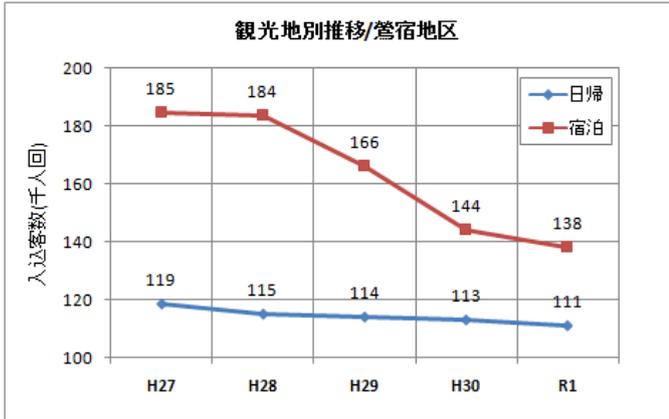
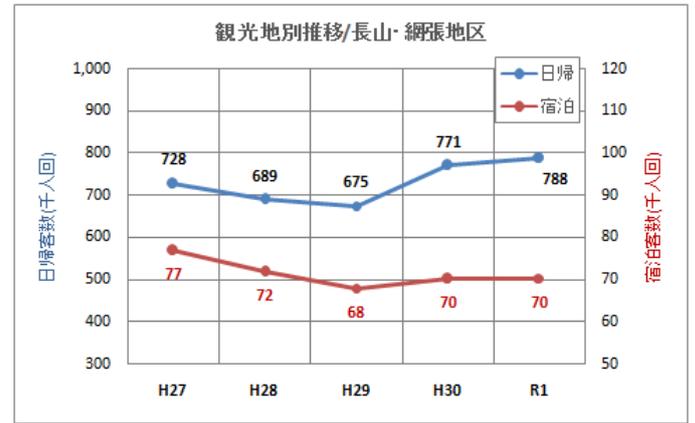
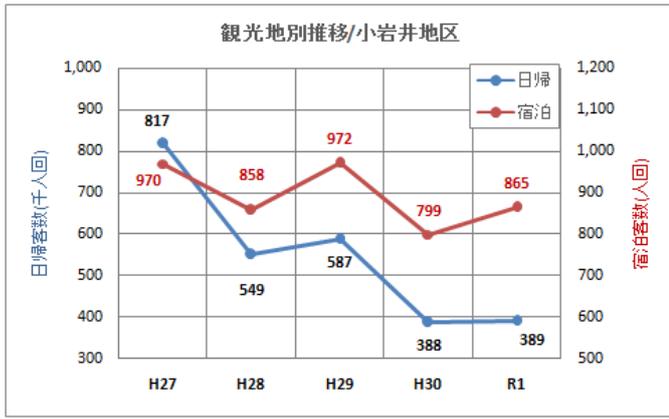
本年は、西根地区、その他地区で減少となった他は、横ばいあるいは増加となった。

小岩井地区は、昨年は雪まつりの計上地区変更により大幅な減少となったが、本年はほぼ横ばいに収まった。長山・網張地区は宿泊は昨年並みだったものの日帰客の増加により、17,446人回増の858,636人回(前年比102.1%)。一方鶯宿地区は宿泊客の減少により8,073人回の減(前年比96.9%)で、昨年と比べると減少は緩やかになったものの、249,063人回(前年比96.9%)と減少が続いている。国見・橋場地区は日帰/宿泊ともほぼ昨年並みで、2,520人回減の574,308人回(前年比99.6%)となった。また西根地区は過去2年増加が続いていたが、本年は5,093人回減の183,297人回(前年比97.3%)と減少に転じた。その他地区は天候不良の影響を受け、22,557人回減の238,972人回(前年比91.4%)と大きく減少した。

宿泊者数は平成28年以降減少を続けており、本年も7,909人回の減少(前年比97.7%)。日帰客数は、9,045人回減の前年比99.6%だった。

本年の来訪者減少が少なかったことは期間延長した雪まつりの来訪者増に起因すると考えられ、外国人観光客の伸びも6%程に鈍っていることから、決して楽観視できるものではない。

観光地別	年度	H27		H28		H29		H30		H31/R1	
		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
小岩井地区	日帰	817,439	103.3	549,487	67.2	587,125	106.8	387,887	66.1	389,090	100.3
	宿泊	970	104.1	858	88.5	972	113.3	799	82.2	865	108.3
	計	818,409	103.3	550,345	67.2	588,097	106.9	388,686	66.1	389,955	100.3
長山・網張地区	日帰	727,980	115.5	689,428	94.7	675,107	97.9	770,965	114.2	788,350	102.3
	宿泊	76,889	95.9	71,786	93.4	67,931	94.6	70,225	103.4	70,286	100.1
	計	804,869	113.3	761,214	94.6	743,038	97.6	841,190	113.2	858,636	102.1
鶯宿地区	日帰	118,665	75.5	115,066	97.0	114,026	99.1	112,990	99.1	110,910	98.2
	宿泊	184,608	99.3	183,706	99.5	165,946	90.3	144,146	86.9	138,153	95.8
	計	303,273	88.4	298,772	98.5	279,972	93.7	257,136	91.8	249,063	96.9
国見・橋場地区	日帰	484,011	102.6	617,514	127.6	591,442	95.8	570,269	96.4	567,453	99.5
	宿泊	6,360	148.8	6,538	102.8	5,287	80.9	6,559	124.1	6,855	104.5
	計	490,371	103.0	624,052	127.3	596,729	95.6	576,828	96.7	574,308	99.6
滝ノ上地区	日帰	8,882	89.9	7,588	85.4	5,996	79.0	5,938	99.0	7,370	124.1
	宿泊	199	45.5	29	14.6	0	0.0	0	0.0	31	0.0
	計	9,081	88.0	7,617	83.9	5,996	78.7	5,938	99.0	7,401	124.6
玄武地区	日帰	6,375	113.0	8,341	130.8	9,112	109.2	8,821	96.8	9,187	104.1
	宿泊	5,037	75.6	5,624	111.7	4,286	76.2	4,768	111.2	5,512	115.6
	計	11,412	92.7	13,965	122.4	13,398	95.9	13,589	101.4	14,699	108.2
西根地区	日帰	65,940	79.3	51,474	78.1	73,983	143.7	78,533	106.2	76,299	97.2
	宿泊	79,993	100.3	73,811	92.3	90,757	123.0	109,857	121.0	106,999	97.4
	計	145,933	89.6	125,285	85.9	164,740	131.5	188,390	114.4	183,298	97.3
その他地区	日帰	296,379	107.0	268,683	90.7	274,821	102.3	260,120	94.7	237,819	91.4
	宿泊	2,199	87.6	1,709	77.7	1,484	86.8	1,409	94.9	1,153	81.8
	計	298,578	106.8	270,392	90.6	276,305	102.2	261,529	94.7	238,972	91.4
合計	日帰	2,525,671	104.1	2,307,581	91.4	2,331,612	101.0	2,195,523	94.2	2,186,478	99.6
	宿泊	356,255	98.8	344,061	96.6	336,663	97.8	337,763	100.3	329,854	97.7
	計	2,881,926	103.4	2,651,642	92.0	2,668,275	100.6	2,533,286	94.9	2,516,332	99.3



②発地別

発地別データについては平成28年以前の地区別外国人観光客数が不明のため、平成29年以降の比較に留める。

小岩井地区は、県内客が9,757人回減少し150,516人回(前年比93.9%)と、県外客、外国人旅行者の増加分を打ち消す結果となった。また長山・網張地区は、県外客は減少したものの、県内客が21,500人回増加。海外客はオーストラリアからの入込は減少したが、全体では1,818人回(前年比123.2%)と増加した。

一方鶯宿地区は減少が続いている。内訳で見ると、県内客が日帰/宿泊共に減少。特に宿泊は前年比78.0%の52,268人回に減少(-14,740人回)。海外客も台湾からの入込減の影響で2,398人回減の8,545人回(前年比78.1%)に留まった。県外客は一昨年並みに回復。特に宿泊客は8,747人回増で85,885人回(前年比111.3%)。

国見・橋場地区は、県内客、県外客とも昨年と同程度となった。県外客が1,167人回増の172,440人回(前年比100.7%)だったのに対して、県内客は3,689人回減の401,866人回(前年比99.1%)だった。

滝ノ上地区は昨年のような大雨による県道通行止めの影響もなく、1,458人回増の7,396人回(前年比124.6%)となった。

また玄武地区に関しては、県内客は昨年減少したものの一昨年と同程度に回復(510人回増/前年比105.6%)、県外客は宿泊が増えたことで堅実な伸び(584人回増/前年比113.1%)を示している。全体では14,699人回で1,110人回(前年比108.2%)の増加。

西根地区は、海外客が18,675人回(前年比125.1%)と年々増加する一方で、県外客は83,932人回(前年比89.6%)で9,789人回の減少となり、全体でも183,297人回(前年比97.3%)、5,093人回の減少となった。

その他地区では県内外共に減少。特に県外客は13,043人回減の前年比71.4%と大きく落ち込み。御所湖広域公園各施設での減少が響いた(ただしこれらの施設では県内客は増加し、トータルでは昨年より来訪者増)。一方県内客は、桜まつり開催と桜の開花が合わなかったことでの減少が影響し、9,706人回減の前年比95.5%となった。

観光地別	年度	H29	H30	H31/R1	R1前年比
小岩井地区	県内	299,475	160,273	150,516	93.9%
	県外	275,410	219,018	229,671	104.9%
	海外	13,212	9,395	9,768	104.0%
	計	588,097	388,686	389,955	100.3%
長山・網張地区	県内	511,644	563,126	584,626	103.8%
	県外	230,632	276,588	272,192	98.4%
	海外	762	1,476	1,818	123.2%
	計	743,038	841,190	858,636	102.1%
鶯宿地区	県内	179,220	167,061	150,323	90.0%
	県外	91,160	79,132	90,195	114.0%
	海外	9,592	10,943	8,545	78.1%
	計	279,972	257,136	249,063	96.9%
国見・橋場地区	県内	417,775	405,555	401,866	99.1%
	県外	178,950	171,273	172,440	100.7%
	海外	4	0	2	-
	計	596,729	576,828	574,308	99.6%
滝ノ上地区	県内	4,198	4,294	5,656	131.7%
	県外	1,798	1,644	1,745	106.1%
	海外	0	0	0	-
	計	5,996	5,938	7,401	124.6%
玄武地区	県内	9,511	9,097	9,607	105.6%
	県外	3,870	4,453	5,037	113.1%
	海外	17	39	55	141.0%
	計	13,398	13,589	14,699	108.2%
西根地区	県内	78,967	79,743	80,691	101.2%
	県外	74,972	93,721	83,932	89.6%
	海外	10,801	14,926	18,675	125.1%
	計	164,740	188,390	183,298	97.3%
その他地区	県内	231,780	215,811	206,105	95.5%
	県外	44,525	45,682	32,639	71.4%
	海外	0	36	228	-
	計	276,305	261,529	238,972	91.4%
合計	県内	1,732,570	1,604,960	1,589,390	99.0%
	県外	901,317	891,511	887,851	99.6%
	海外	34,388	36,815	39,091	106.2%
	計	2,668,275	2,533,286	2,516,332	99.3%

3 観光地別月別入込状況

町内全体の月毎の推移をみると、10連休となったゴールデンウィークを含む5月に、多くの地区で前年より日帰客数は増えたものの、宿泊客数はほぼ横ばいで入込増にはあまり繋がらなかった。この時期に実施した来訪者アンケートで、「町外に宿泊して日帰り訪問」するケースや町内に宿泊しても「1泊2日」の短期滞在のケースが多く見られており、このことが影響しているものと考えられる。また紅葉シーズンの10月は、温かい日が続いたため紅葉がずれ込み、さらに台風19号による大雨の他天候不良が続いたことで入込が減少した地区が多くなった。

地区別に見ていくと、まず小岩井地区では5月の日帰客数が県内外とも増加。前年比で合計24,283人回(144.7%)増加した反面、天候不良により6月、10月ではそれぞれ8,403人回(前年比74.9%)、5,311人回(同83.1%)減少。夏休み期間の7月、8月は県外客数がそれぞれ1割程度減少した。前年からの来訪者数減少は回避されたものの、歯止めの対策は必要である。

長山・網張地区は雪まつり会期延長に伴う来場者増の影響で、2月の日帰客数が県内/県外とも昨年より大きく増えた一方で、1月の県外日帰客、10月の県内外からの日帰客数は減少した。また雪不足のため、12月のスキー場の入込が減少、特に県内の落ち込みが大きくなった。一方で宿泊者数は昨年並みとなった。

鶯宿地区は、県内宿泊客に関してすべての月で前年割れとなった。特に4月、5月については、県外宿泊客がそれぞれ前年の145%、130%に増えた半面、県内客は58%、69%と減少。県外宿泊客に限れば通年で8,747人回の増となっているため、県内宿泊客の減少がこれを打ち消す結果となってしまった。ひと月当たりの県内宿泊者数平均と比較すると、平成28年には約10,000人回/月だったものが、昨年は約7,300人回/月と約3割減少しており(県外宿泊客は同様の比較で1割減程度)、県内宿泊者への対策も来訪者減を食い止める策となり得ると考えられる。

国見・橋場地区は昨年並みとなった。道の駅で落雷の被害により臨時休館となった5月も、大きな入込減には至らなかった。登山者が3,305人回増の10,902人回(前年比143.5%)と大きく伸びたが、登山口の国見温泉利用者数は伸びず、294人回減の前年比98.0%に留まった。キャンプ場利用は着実に増加している。

玄武地区は3月、4月にはいずれも前年比130%に増加。1月の日帰客が前年の76%に落ち込んだ以外は、大きな減少を示した月は見られなかったが、ここでも僅かながら10月の入込減が見られた。

西根地区は、紅葉の時期である9月、10月の県外宿泊者数が減少。いずれの月も前年比80%程度に留まった。これ以外にも前年より減少した月が多く、特に宿泊については県外比率が高い地区でもあり、これ以上の減少は避けたい。

その他(御所湖付近)地区は、4月桜未開花により桜まつりの来訪者が激減するなど前年の50%程度に落ち込んだほか、10月には初日の大雨により産業まつりへの来訪者数が減少。他方、5月はGWを含め天候に恵まれたことで、公園施設で来訪者数が大きく増加。特に県内からの日帰客数は、前年同月比で10,349人回(133.3%)と大きく増加した。

観光地別	月別	H31/R1 合計		
		県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	150,466	238,624	389,090
	宿泊	50	815	865
	計	150,516	239,439	389,955
長山・網張地区	日帰	553,309	235,041	788,350
	宿泊	31,317	38,969	70,286
	計	584,626	274,010	858,636
鶯宿地区	日帰	98,055	12,855	110,910
	宿泊	52,268	85,885	138,153
	計	150,323	98,740	249,063
国見・橋場地区	日帰	398,066	169,387	567,453
	宿泊	3,800	3,055	6,855
	計	401,866	172,442	574,308
滝ノ上地区	日帰	5,628	1,742	7,370
	宿泊	28	3	31
	計	5,656	1,745	7,401
玄武地区	日帰	7,295	1,892	9,187
	宿泊	2,312	3,200	5,512
	計	9,607	5,092	14,699
西根地区	日帰	63,683	12,616	76,299
	宿泊	17,008	89,991	106,999
	計	80,691	102,607	183,298
その他地区	日帰	205,305	32,514	237,819
	宿泊	800	353	1,153
	計	206,105	32,867	238,972
合計	日帰	1,481,807	704,671	2,186,478
	宿泊	107,583	222,271	329,854
	計	1,589,390	926,942	2,516,332

観光地別	月別	1月			2月			3月			4月		
		県内	県外	合計									
小岩井地区	日帰	12,287	11,433	23,720	9,490	5,942	15,432	3,062	4,603	7,665	9,951	21,341	31,292
	宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	73	76
	計	12,287	11,433	23,720	9,490	5,942	15,432	3,062	4,603	7,665	9,954	21,414	31,368
長山・網張地区	日帰	57,657	16,208	73,865	125,988	45,472	171,460	45,424	16,940	62,364	36,082	20,203	56,285
	宿泊	3,254	2,859	6,113	2,383	2,410	4,793	3,280	1,740	5,020	2,117	2,763	4,880
	計	60,911	19,067	79,978	128,371	47,882	176,253	48,704	18,680	67,384	38,199	22,966	61,165
篤宿地区	日帰	5,567	385	5,952	5,964	112	6,076	5,919	125	6,044	7,729	816	8,545
	宿泊	6,133	4,207	10,340	5,561	4,082	9,643	4,165	4,222	8,387	2,847	9,629	12,476
	計	11,700	4,592	16,292	11,525	4,194	15,719	10,084	4,347	14,431	10,576	10,445	21,021
国見・橋場地区	日帰	20,743	8,890	29,633	19,296	8,270	27,566	24,989	10,709	35,698	37,388	16,022	53,410
	宿泊			0			0			0	228	97	325
	計	20,743	8,890	29,633	19,296	8,270	27,566	24,989	10,709	35,698	37,616	16,119	53,735
滝ノ上地区	日帰			0			0			0			0
	宿泊			0			0			0			0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支武地区	日帰	590	144	734	610	239	849	772	200	972	622	298	920
	宿泊	184	293	477	158	188	346	175	104	279	285	243	528
	計	774	437	1,211	768	427	1,195	947	304	1,251	907	541	1,448
西根地区	日帰	17,500	3,800	21,300	16,270	3,230	19,500	7,326	1,340	8,666	0	1	1
	宿泊	1,373	7,902	9,275	1,236	7,534	8,770	2,000	4,057	6,057	483	5,760	6,243
	計	18,873	11,702	30,575	17,506	10,764	28,270	9,326	5,397	14,723	483	5,761	6,244
その他地区	日帰	3,543	1,377	4,920	3,748	1,459	5,207	3,664	1,576	5,240	16,585	2,092	18,677
	宿泊	62	32	94	43	18	61	39	17	56	39	17	56
	計	3,605	1,409	5,014	3,791	1,477	5,268	3,703	1,593	5,296	16,624	2,109	18,733
合計	日帰	117,887	42,237	160,124	181,366	64,724	246,090	91,156	35,493	126,649	108,357	60,773	169,130
	宿泊	11,006	15,293	26,299	9,381	14,232	23,613	9,659	10,140	19,799	6,002	18,582	24,584
	計	128,893	57,530	186,423	190,747	78,956	269,703	100,815	45,633	146,448	114,359	79,355	193,714

観光地別	月別	5月			6月			7月			8月		
		県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	24,751	53,835	78,586	11,913	13,114	25,027	12,947	17,734	30,681	18,707	47,396	66,103
	宿泊	13	138	151	0	52	52	2	91	93	21	258	279
	計	24,764	53,973	78,737	11,913	13,166	25,079	12,949	17,825	30,774	18,728	47,654	66,382
長山・網張地区	日帰	50,458	28,289	78,747	35,168	16,717	51,885	35,929	17,102	53,031	45,755	19,832	65,587
	宿泊	2,053	3,479	5,532	2,161	3,071	5,232	2,661	3,580	6,241	2,999	6,549	9,548
	計	52,511	31,768	84,279	37,329	19,788	57,117	38,590	20,682	59,272	48,754	26,381	75,135
篤宿地区	日帰	10,039	1,568	11,607	8,521	1,153	9,674	10,633	1,969	12,602	8,594	1,874	10,468
	宿泊	3,266	9,208	12,474	4,253	5,020	9,273	2,815	6,666	9,481	4,760	11,783	16,543
	計	13,305	10,776	24,081	12,774	6,173	18,947	13,448	8,635	22,083	13,354	13,657	27,011
国見・橋場地区	日帰	40,480	17,375	57,855	35,207	14,973	50,180	38,480	16,221	54,701	48,925	20,671	69,596
	宿泊	429	264	693	295	386	681	600	531	1,131	1,063	745	1,808
	計	40,909	17,639	58,548	35,502	15,359	50,861	39,080	16,752	55,832	49,988	21,416	71,404
滝ノ上地区	日帰	221	94	315	407	175	582	668	224	892	788	240	1,028
	宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
	計	221	94	315	407	175	582	668	224	892	794	241	1,035
支武地区	日帰	750	132	882	588	130	718	577	113	690	591	116	707
	宿泊	228	366	594	53	190	243	104	234	338	339	525	864
	計	978	498	1,476	641	320	961	681	347	1,028	930	641	1,571
西根地区	日帰	2,764	487	3,251	2,890	549	3,439	2,536	447	2,983	2,427	428	2,855
	宿泊	1,116	9,573	10,689	1,327	7,051	8,378	1,604	7,324	8,928	1,883	10,907	12,790
	計	3,880	10,060	13,940	4,217	7,600	11,817	4,140	7,771	11,911	4,310	11,335	15,645
その他地区	日帰	41,442	3,474	44,916	21,581	2,103	23,684	21,265	2,297	23,562	31,596	5,259	36,855
	宿泊	96	41	137	29	12	41	63	27	90	179	81	260
	計	41,538	3,515	45,053	21,610	2,115	23,725	21,328	2,324	23,652	31,775	5,340	37,115
合計	日帰	170,905	105,254	276,159	116,275	48,914	165,189	123,035	56,107	179,142	157,383	95,816	253,199
	宿泊	7,201	23,069	30,270	8,118	15,782	23,900	7,849	18,453	26,302	11,250	30,849	42,099
	計	178,106	128,323	306,429	124,393	64,696	189,089	130,884	74,560	205,444	168,633	126,665	295,298

観光地別	月別	9月			10月			11月			12月		
		県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
小岩井地区	日 帰	12,730	21,127	33,857	10,627	15,419	26,046	9,580	12,544	22,124	14,421	14,136	28,557
	宿 泊	4	84	88	5	92	97	2	27	29	0	0	0
	計	12,734	21,211	33,945	10,632	15,511	26,143	9,582	12,571	22,153	14,421	14,136	28,557
長山・網張地区	日 帰	41,393	18,390	59,783	33,544	15,989	49,533	24,078	12,057	36,135	21,833	7,842	29,675
	宿 泊	2,491	4,403	6,894	2,184	4,263	6,447	3,000	1,977	4,977	2,734	1,875	4,609
	計	43,884	22,793	66,677	35,728	20,252	55,980	27,078	14,034	41,112	24,567	9,717	34,284
篤宿地区	日 帰	9,499	1,244	10,743	9,326	1,224	10,550	9,282	1,401	10,683	6,982	984	7,966
	宿 泊	3,719	6,598	10,317	4,221	10,556	14,777	4,889	8,240	13,129	5,639	5,674	11,313
	計	13,218	7,842	21,060	13,547	11,780	25,327	14,171	9,641	23,812	12,621	6,658	19,279
国見・橋場地区	日 帰	39,694	16,761	56,455	43,117	18,241	61,358	30,985	13,213	44,198	18,762	8,041	26,803
	宿 泊	625	558	1,183	368	375	743	192	99	291			0
	計	40,319	17,319	57,638	43,485	18,616	62,101	31,177	13,312	44,489	18,762	8,041	26,803
滝ノ上地区	日 帰	2,031	737	2,768	1,058	196	1,254	455	76	531			0
	宿 泊	2	0	2	19	2	21	1	0	1			0
	計	2,033	737	2,770	1,077	198	1,275	456	76	532	0	0	0
支武地区	日 帰	627	122	749	487	127	614	460	116	576	621	155	776
	宿 泊	156	278	434	200	343	543	246	145	391	184	291	475
	計	783	400	1,183	687	470	1,157	706	261	967	805	446	1,251
西根地区	日 帰	2,831	499	3,330	3,085	543	3,628	1,654	292	1,946	4,400	1,000	5,400
	宿 泊	1,424	8,604	10,028	1,001	9,197	10,198	1,922	8,337	10,259	1,639	3,745	5,384
	計	4,255	9,103	13,358	4,086	9,740	13,826	3,576	8,629	12,205	6,039	4,745	10,784
その他地区	日 帰	19,138	2,980	22,118	26,643	7,232	33,875	13,365	1,485	14,850	2,735	1,180	3,915
	宿 泊	55	24	79	72	31	103	50	22	72	73	31	104
	計	19,193	3,004	22,197	26,715	7,263	33,978	13,415	1,507	14,922	2,808	1,211	4,019
合計	日 帰	127,943	61,860	189,803	127,887	58,971	186,858	89,859	41,184	131,043	69,754	33,338	103,092
	宿 泊	8,476	20,549	29,025	8,070	24,859	32,929	10,302	18,847	29,149	10,269	11,616	21,885
	計	136,419	82,409	218,828	135,957	83,830	219,787	100,161	60,031	160,192	80,023	44,954	124,977

※国見地区(宿泊)及び滝ノ上地区は12月～4月まで冬季道路閉鎖により入込み無し

4 観光資源別入込状況

観光資源別では、雪まつりの開催期間延長による来訪者増により「行祭事」の入込が増加したものの、それ以外は横ばい(「都市型観光」)あるいは減少に留まった。特に「スキー」は、2月後半の暖かさで融雪が早まったことと、12月の雪不足の影響で大きく減少した。「温泉」も減少が続いている。

○自然系観光資源(温泉以外)

長山・網張地区、西根地区ではそれぞれ前年対比で、783人回(23.3%)、1,350人回(24.5%)減少した。西根地区は、民宿の休業による減少が影響したと見られる。小岩井地区では66人回(8.3%)の増となった。なお玄武地区については、「温泉」から「温泉以外」へ計上変更する施設が発生したため、見かけ上増加した。

○自然系観光資源(温泉)

入込が増加したのは、国見地区、滝ノ上地区の2地区で、国見地区が対前年比890人回(0.7%)、滝ノ上地区が1,693人回(249.0%)の増となった。国見地区はほぼ横ばいだが、滝ノ上地区は大雨などによる県道通行止めの影響もなかったため増加したと見られる。また長山地区は934人回(0.4%)の減で横ばい、西根地区も1,509人回(1.4%)の減少となった。また鶯宿地区は6,186人回(2.9%)の減少で、昨年ほどではなくなったが依然として減少傾向は続いている。西根地区も1,509人回(1.4%)の減少に転じた。玄武地区は、「温泉以外」へ計上変更する施設が出たことにより7,714人回(56.8%)の大きな減少となった。その他地区は139人回(7.5%)の減でほぼ横ばい。

○行祭事

いわて雪まつりの開催期間が10日間に延長され会場数が7会場に増えたことで、会期中の悪天候にも関わらず、来訪者数は前年から40,400人回増え、109,580人回(本町内会場分のみ)、対前年比158.4%となった。また軽トラ市は比較的天候に恵まれ、6月には通算100回の記念開催も行われ、6,200人回増の31,700人回(前年比124.3%)と、年間の来場者数が30,000人回を超えた。その他の行祭事では、雫石よしゃれ祭が300人回増の7,300人回(同104.3%)だった一方、しずくいし産業まつりは初日の天候不良が影響し4,000人回減の17,000人回(同81.0%)、南部よしゃれ全国大会も100人回減の500人回(前年比83.3%)に留まった。さらに御所湖 in しずくいし桜まつりは、開催時桜が未開花だったことで来場者は400人回と12,600人回(同3.1%)の大幅減。この影響が大きく、行祭事全体としては前年より29,775人回増の168,215人回(121.5%)に留まった。

○展示見学教育施設

長山地区は266人回減の20,522人回(前年比98.7%)とわずかに減少、その他地区では4,431人回減の11,639人回(同72.4%)といずれの地区も減少となった。

○野外活動施設(スキー以外)

小岩井地区、国見地区、西根地区では増となったが、長山地区、鶯宿地区、滝ノ上地区、その他地区で減少した。対前年比で小岩井地区は1,203人回(0.3%)、国見地区は3,567人回(28.7%)、西根地区は445人回(2.1%)の増、他方長山地区は8,400人回(14.2%)、鶯宿地区は1,887人回(4.4%)、滝ノ上地区は230人回(4.4%)の減となった。国見地区については、秋田駒ヶ岳への登山者増が要因となった一方で、長山地区では温水プール利用者の減少が、鶯宿地区ではフラワー&ガーデンの入込減少が響いた。またその他地区は、御所湖広域公園の来場者は増えたものの、3月の雪不足の影響でケッパレランドで開催予定の大会が全て中止になるなどしたことで、1,242人回(1.0%)の減少となった。

○野外活動施設(スキー)

シーズン当初は十分な積雪があったが、2月の高温と降雨により3月の雪解けが一気に進んだこと、12月は暖冬による雪不足で来客が伸びなかったことにより、長山地区は前年より20,490人回減の83.2%と大きく減少。西根地区も2,678人回減の95.3%、全体では前年比23,168人回減の87.1%となった。

○都市型観光資源

長山地区では7,919人回増加したものの、その他地区では6,115人回減少し、全体では1,804人回増でほぼ横ばいとなった。

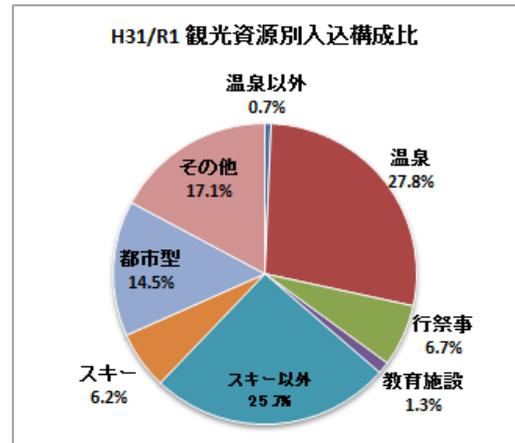
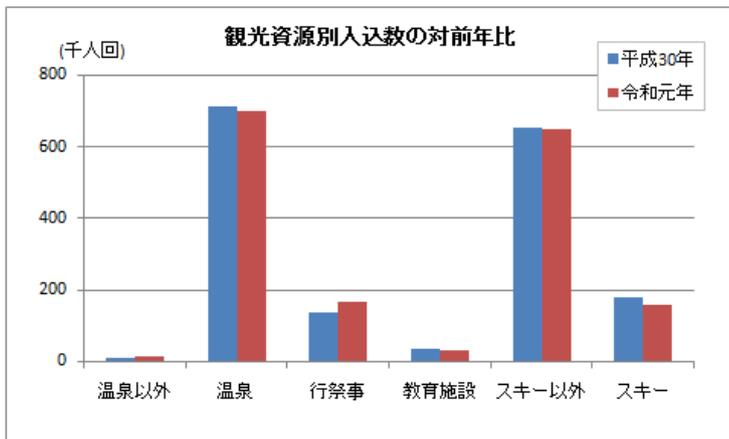
○その他観光資源

431,492人回で6,976人回減の98.4%となった。これまでより減少幅は小さくなったが、依然として入込減が続いている。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉以外	温泉	行祭事	教育施設	スキー以外	スキー	都市型	その他	
平成30年	9,680	712,585	138,440	36,858	653,763	179,421	364,070	438,468	2,533,285
令和元年	16,435	698,683	168,215	32,161	647,219	156,253	365,874	431,492	2,516,332
前年差	6,755	-13,902	29,775	-4,697	-6,544	-23,168	1,804	-6,976	-16,953
対前年比	169.8%	98.0%	121.5%	87.3%	99.0%	87.1%	100.5%	98.4%	99.3%
構成比(R1)	0.7%	27.8%	6.7%	1.3%	25.7%	6.2%	14.5%	17.1%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。



主な行祭事の入込数と対前年比

※雪まつりは町内会場分の入込のみ

(人回)

行祭事	H30	H31/R1	対前年差引	対前年比
いわて雪まつり	69,180	109,580	40,400	158.4%
軽トラ市	25,500	31,700	6,200	124.3%
雫石よしゃれ祭	7,000	7,300	300	104.3%
南部よしゃれ全国大会	600	500	-100	83.3%
しずくいし産業まつり	21,000	17,000	-4,000	81.0%

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関は昨年と大きな変動はなく、自家用車が1,990,345人回(構成比:79.1%)と約8割を占め、次いで貸切バスが全体の12.5%で314,065人回と、これまで同様自動車の比重が高い結果となった。また、3月31日までに県交通バスの網張温泉線が小岩井農場止りに短縮されたことの影響が懸念されたが、全体での定期路線利用数は537人回減に留まり、大きな減少とはならなかった一方で、このすべてが路線バス利用者とは限らないが、直接的な影響がある網張温泉周辺の施設では、3,191人回の利用減(前年比61.3%)となった。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
平成30年	83,758	314,542	2,002,849	132,129	2,533,278
構成比(H30)	3.3%	12.4%	79.1%	5.2%	
令和元年	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
前年比	99.4%	99.8%	99.4%	97.0%	99.3%

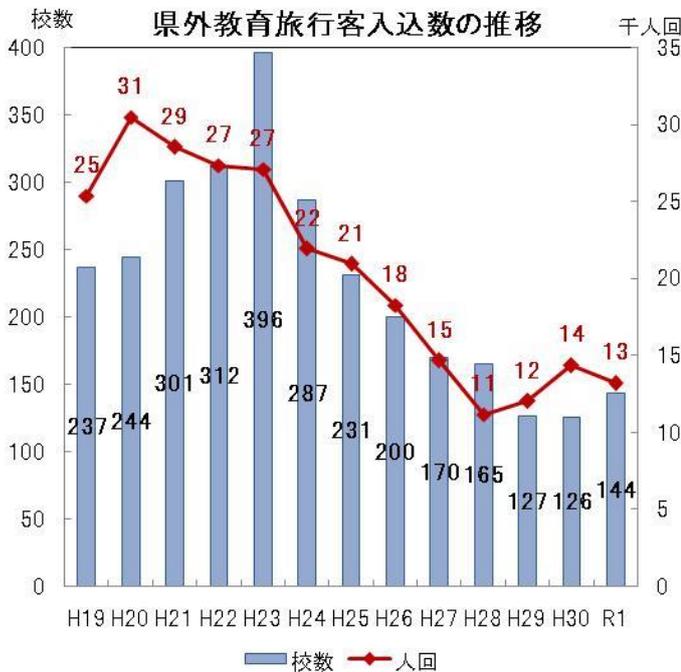
6 県外教育旅行客の入込状況

県外からの教育旅行客は、学校数が延べ144校、生徒数が13,220人回となり、前年と比較すると学校数は18校増加したが、生徒数は1,159人回(8.1%)減少した。

内訳としては高校生の減少が著しく、学校数は27校から45校へ増加したものの、延べ人数は5,766人回と前年から2,917人回の減少となった。前年あった関東からの1,400人規模のスキー修学旅行の来訪がなかった影響が大きいとみられる。地方別にみると、関東地方から前年から3,703人回減少したものの延べ5,294人回(40.0%)で最多、次いで県内を除く東北各県が4,416人回(33.4%)となった。また近畿地方からの来訪は8校1,478人回と、一昨年には及ばないが増加に転じた。北海道からの旅行客は横ばい。

高校以外の動向としては、中学校が延べ8校798人回増えた一方で、小学校は12校から2校に減少。東北各県からの来訪がゼロとなった。反面、本年明治大学応援団の合宿誘致に成功したことで入込数が増加し、小学校、高校の入込減をカバーすることができた。

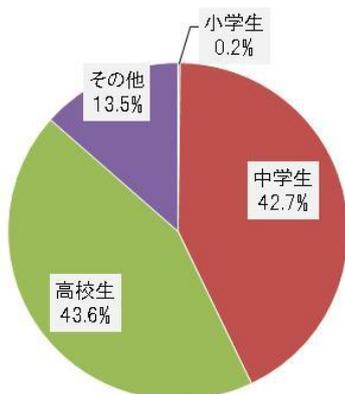
前年に比べ学校数は増加したものの旅行者数は減少し、1校あたりの平均人数は前年より20人回ほど減少している。少子化や学校統廃合による学校数、児童・生徒数の減少で、従来の修学旅行、教育旅行だけでは減少を食い止めるのは難しく、本年実施した大学生をはじめとする合宿や冬季の来訪の推進などの取り組みが必要と考えられる。



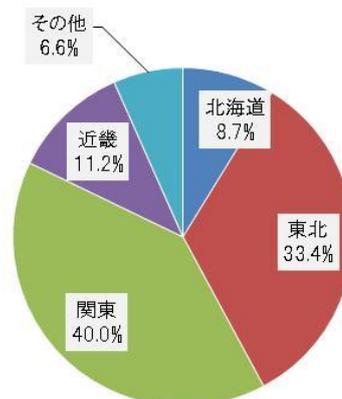
小学校	2
中学校	94
高校	45
その他	3
計	144

北海道	11
東北	85
関東	34
中部	4
近畿	8
中国	0
四国	1
九州	1
沖縄	0
その他	0
計	144

県外教育旅行客の入込割合



県外教育旅行客の地方別入込割合



7 外国人観光客の入込状況

外国人観光客の入込数は、前年に比べて2,276人回増加し、39,091人回(前年比106.2%)となり、伸び率は鈍っているものの前年を上回った。

国籍別にみると台湾が27,907人回と、雫石町を訪問する外国人観光客の71.4%を占め変わらずトップとなっているが、来訪者数の伸びは前年の360人回(101.3%)増とほぼ前年並みとなった。前年同様宿泊者数は1,182人回と伸びているが、日帰り客数は822人回減少。上半期の来訪者数減が影響したと見られる。

また、町が八幡平市等と共同で積極的に誘致を進めているタイについては、前年に比べて322人回増(前年比144.8%)となった。特に10月の仙台⇄バンコク定期便の運航再開に伴い、第4四半期は317人回増の208.9%で今後の伸びが期待される。中国も花巻⇄上海便の定期便化もあり、2,650人回(前年比390.9%)と約4倍に増加したが、その内73%は日帰りでの来訪で宿泊を伴っていない。一方で政情不安の影響で、香港(2,224人回/72.0%)、韓国(608人回/69.8%)は大幅に減少。韓国はこれまでも来訪者数は少なかったが、香港と共に来訪者数が増加しつつあっただけに、情勢の改善が期待される。

欧米圏については、ヨーロッパからの入込数は全体で156人回減の466人回(74.9%)と減少に転じた。一方オーストラリアは115人回増の1,071人回(前年比112.0%)と堅実に増加。そのうち92.7%が冬季の長山地区、西根地区でカウントされており、スキー目的の来訪と見られる。

四半期ごとにみると、1~3月の第1四半期が1,818人回減で前年比85.1%となったが、これは台湾からの来訪者の減少が影響している(3,088人回減/68.6%)。下半期は4,059人回増の123.4%となっているため、この第1四半期の減少が悔やまれる。なお第2四半期は、前年とほぼ同程度の入込となった。

台湾、タイ、オーストラリアといった本町への来訪者の多くを占める国・地域では、冬季に来訪が集中しているが、中国はむしろグリーンシーズンに多い傾向がある。過大な入込にならないようコントロールしつつ、うまく中国からの旅行者を取り入れることも来訪者の平準化のため検討が必要である。

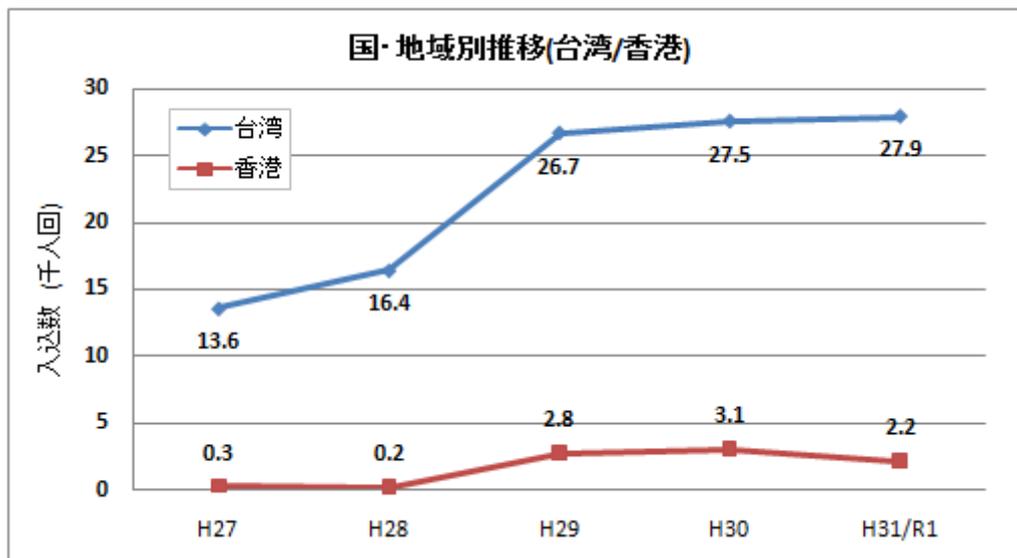
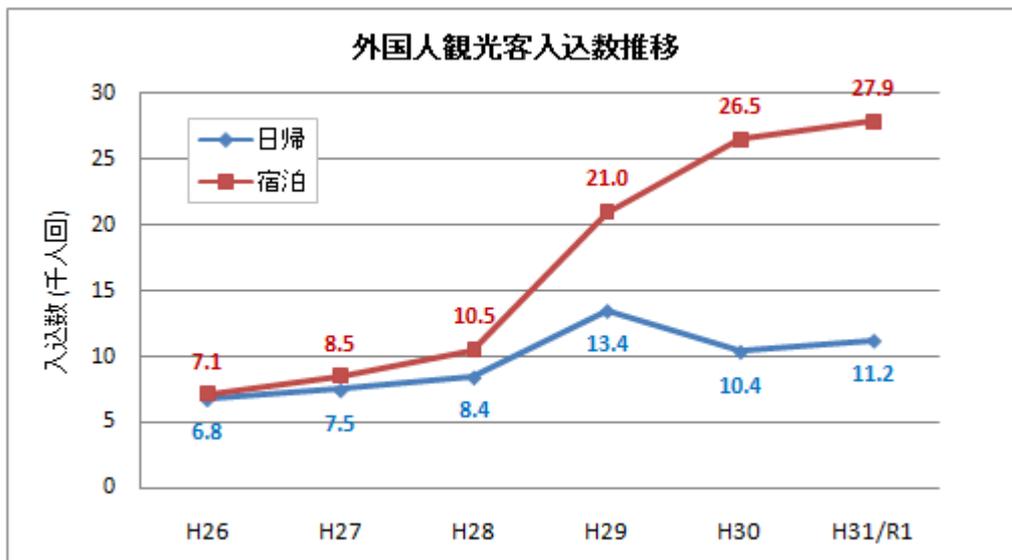
岩手県全体の状況を現在公表されている第3四半期までの速報値で見ると、岩手県を訪れた外国人観光客の発地別入込割合は多い順に、台湾51.0%(151,137人回、前年比27,679人回増・122.4%)、中国19.4%(57,399人回、前年比35,539人回増・262.6%)、韓国4.1%(12,121人回、前年比1,835人回減・86.9%)で、中国の伸びが大きい。中国から岩手県への旅行者の実に60%は八幡平市を訪れている。

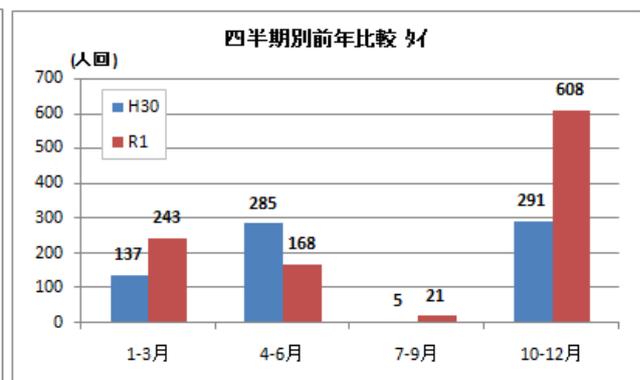
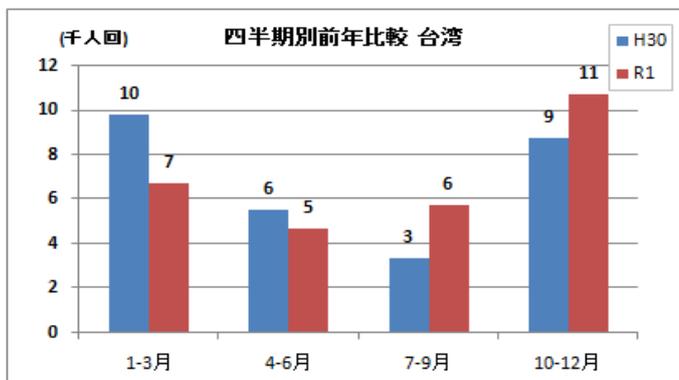
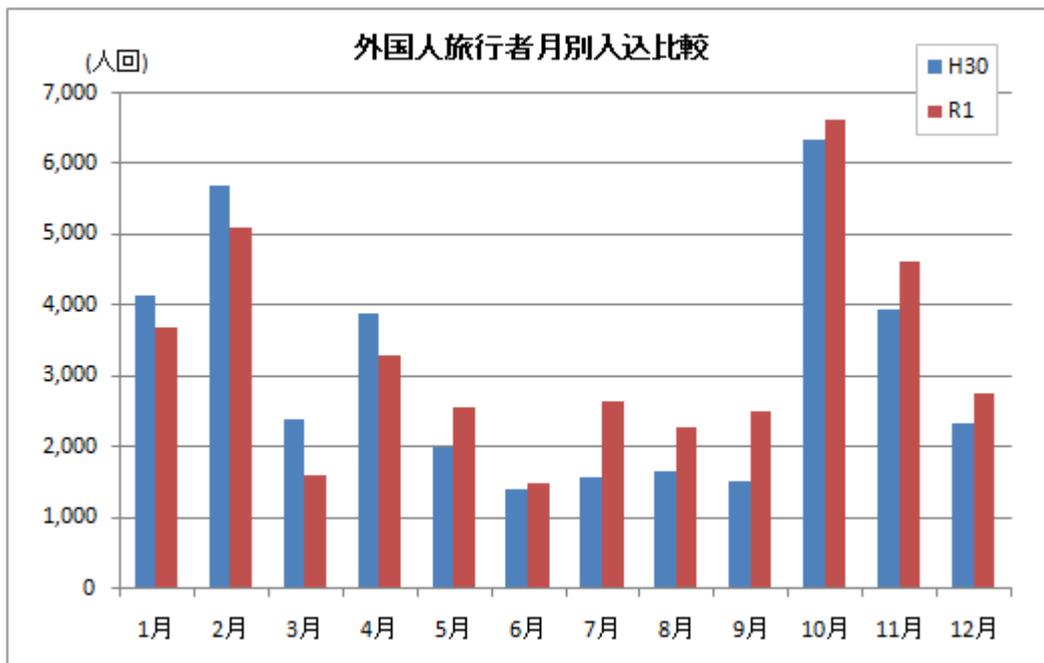
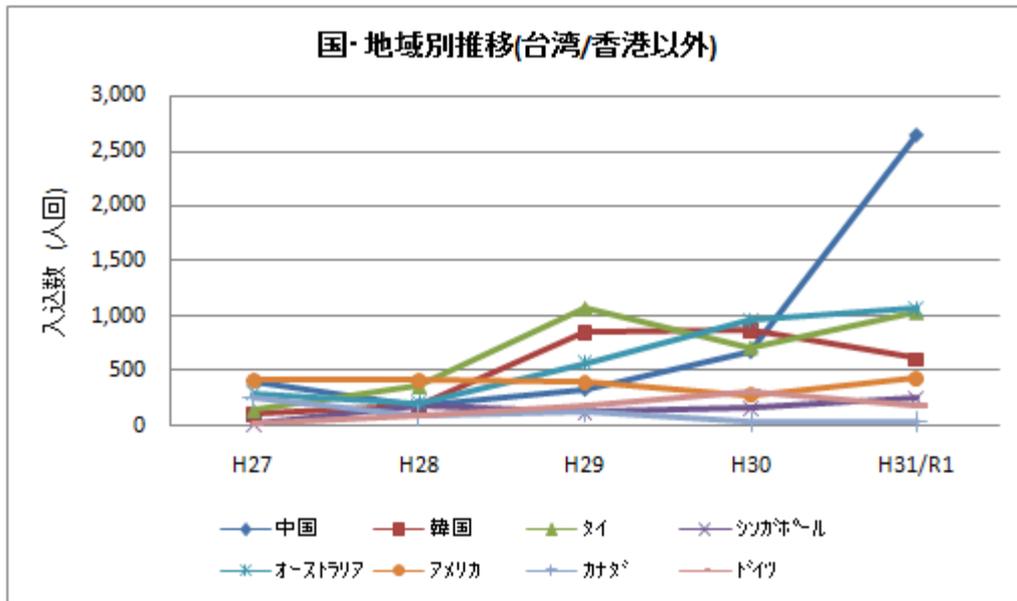
一方タイは仙台便再開以前までのデータとなるが、6,248人回、前年比907人回増・117.0%で、全体の2.1%を占める。本町の発地別入込割合は多い順に、台湾71.4%、中国6.8%、香港5.7%、オーストラリアとタイが2.7%となった。

外国人観光客数は増加傾向が続いているが、前年同様伸び率は6.2%と1ケタの伸びとなった。特に台湾からの観光客数はほぼ横ばいとなっており、原因究明と対策が急がれる。一方で本年発生した韓国、香港での政情不安による旅行者減少に見られるように、1つの国・地域に偏った状況では将来の不安は拭えない。海外観光客の複数の柱となる対象を見定め、リスクの分散を図ることが必要と考える。また、海外からのリピーターを呼び込めるコンテンツの拡充も必要である。

外国人観光客の入込状況（人回）

地域 国籍等	人数	H27			H28			H29			H30			H31/R1		
		日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計
アジア	中国	172	244	416	131	62	193	65	271	336	193	485	678	1,938	712	2,650
	台湾	6,612	6,999	13,611	7,194	9,238	16,432	11,218	15,461	26,679	7,332	20,215	27,547	6,510	21,397	27,907
	香港	43	294	337	53	195	248	495	2,267	2,762	926	2,161	3,087	83	2,141	2,224
	韓国	101	7	108	72	103	175	162	689	851	152	719	871	258	350	608
	タイ	44	100	144	75	291	366	395	681	1,076	108	610	718	156	884	1,040
	シンガポール その他	0 73	16 3	16 76	166 55	16 12	182 67	2 53	129 106	131 159	22 282	132 377	154 659	64 261	188 328	252 589
オセアニア	オーストラリア	26	281	307	76	136	212	2	572	574	279	677	956	22	1,049	1,071
	その他	0	48	48	7	171	178	2	94	96	1	56	57	6	93	99
北米	アメリカ	370	41	411	299	113	412	172	223	395	15	263	278	185	250	435
	カナダ	0	261	261	99	1	100	1	124	125	1	48	49	1	40	41
ヨーロッパ	イギリス	1	0	1	4	10	14	0	22	22	2	30	32	14	31	45
	フランス	0	2	2	0	8	8	4	6	10	4	50	54	4	66	70
	ドイツ	2	20	22	46	47	93	32	154	186	43	280	323	19	166	185
	スイス	1	4	5	20	4	24	1	3	4	2	18	20	0	19	19
	スウェーデン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3	33	6	0	6
	その他	3	82	85	2	15	17	0	115	115	21	139	160	57	84	141
中南米	0	24	24	0	4	4	0	3	3	1	49	50	38	40	78	
アフリカ	0	26	26	0	2	2	0	0	0	12	2	14	2	0	2	
不明	4	20	24	117	44	161	826	38	864	928	147	1,075	1,566	63	1,629	
合計	7,452	8,472	15,924	8,416	10,472	18,888	13,430	20,958	34,388	10,354	26,461	36,815	11,190	27,901	39,091	

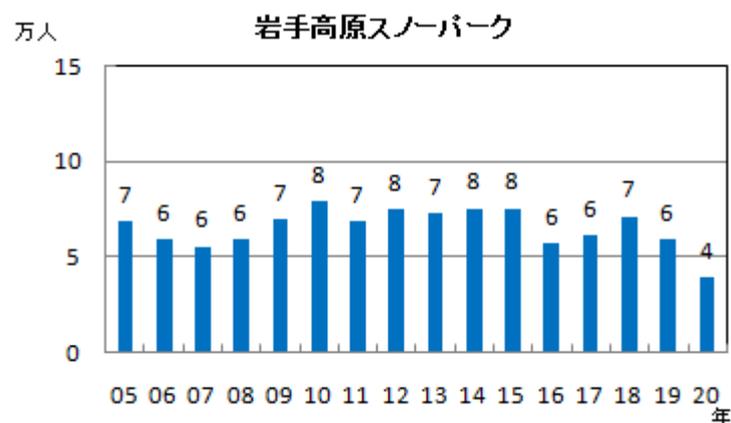
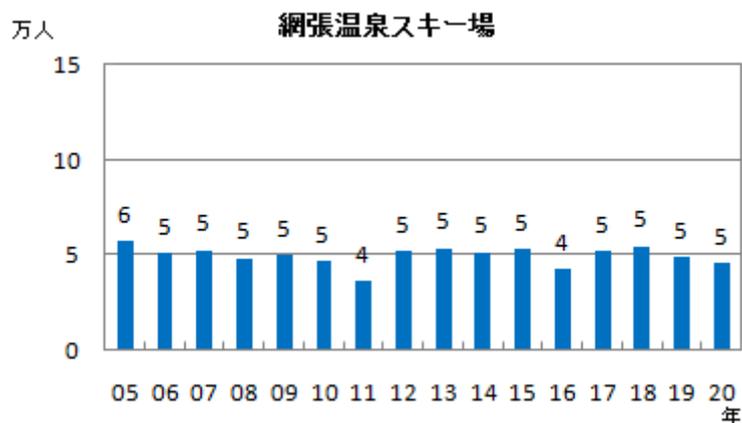
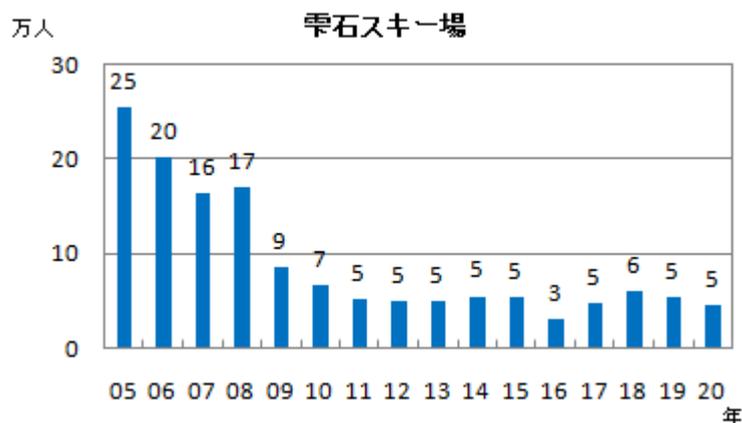
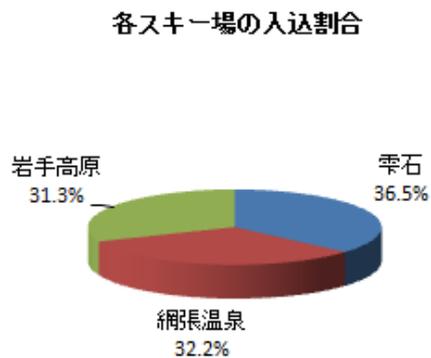
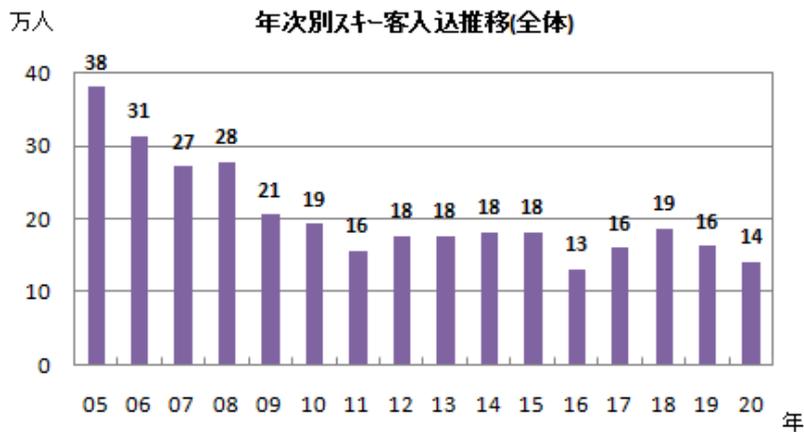




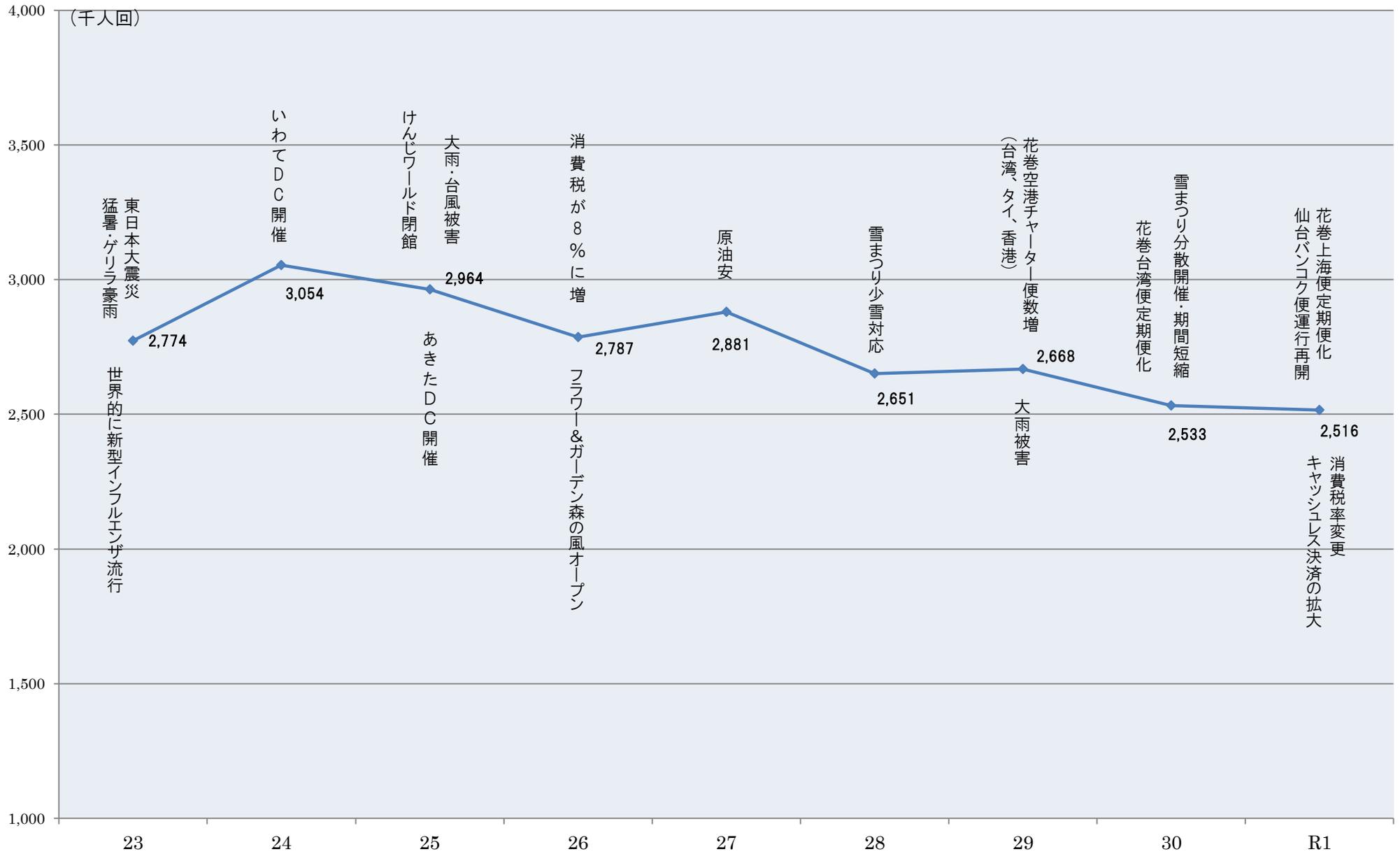
8 2019～2020シーズン・スキー客入込状況

(単位:人回)

	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備考
栗石スキー場	05	30,000	78,000	71,000	72,000	3,400	254,400	12/18～4/3
	06	31,800	62,650	56,000	52,000		202,450	12/10,11・12/15～3/26
	07	17,335	43,490	59,920	41,600	660	163,005	12/15～4/1
	08	15,850	61,000	59,500	33,000		169,350	12/14～3/30
	09	16,308	24,131	23,935	21,148		85,522	12/12～3/29
	10	7,410	24,078	20,716	14,600		66,804	12/18～3/28
	11	6,005	20,004	21,440	3,855		51,304	12/18～
	12	3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
	13	6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
	14	7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
	15	12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
	16	2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
	網張温泉スキー場	05	3,414	20,956	19,266	13,390		57,026
06		5,188	18,784	15,582	11,026	550	51,130	12/16～4/2
07		1,525	19,727	18,411	12,577	359	52,599	12/28～4/1
08		3,955	15,404	16,110	12,815	297	48,581	12/21～4/6
09		3,606	19,285	14,324	13,003		50,218	12/19～3/29
10		4,553	15,904	13,502	11,104	1,841	46,904	12/23～3/28、4/3-4
11		2,166	15,686	14,508	4,346		36,706	12/25～
12		3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
13		5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
14		5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
15		7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
16		2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
岩手高原スノーパーク		05	6,342	27,272	22,147	10,925	1,689	68,375
	06	8,495	22,806	19,453	7,669	900	59,323	12/3～4/2
	07	3,468	21,560	17,919	12,000	580	55,527	12/9～4/1
	08	4,967	26,158	20,088	8,382		59,595	12/15～3/30
	09	7,585	28,378	23,491	9,693	841	69,988	12/13～4/5
	10	8,506	37,026	24,307	8,436	736	79,011	12/19～4/4
	11	6,296	32,681	25,896	3,687		68,560	12/19～
	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
合計	05	39,756	126,228	112,413	96,315	5,089	379,801	
	06	45,483	104,240	91,035	70,695	1,450	312,903	
	07	22,328	84,777	96,250	66,177	1,599	271,131	
	08	24,772	102,562	95,698	54,197	297	277,526	
	09	27,499	71,794	61,750	43,844	841	205,728	
	10	20,469	77,008	58,525	34,140	2,577	192,719	
	11	14,467	68,371	61,844	11,888	0	156,570	
	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688		
19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498		
20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168		



9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移
H23～R1



(参考) 旧基準 (S57~H27 まで)

